

## 文化団体事業

### 第31回旺玄会埼玉支部展

一般社団法人旺玄会埼玉支部 埼玉県立近代美術館 地下 第2、3、4展示室  
8月2日(火)～7日(日) 10:00～17:30 (最終日は16:00まで)

#### 当日の状況

31回展として、第88回旺玄展入選作品の協賛展示を含めて、69人の作家による84点の作品(大作や小品含む)を展示した(うち、埼玉支部員14人 29点)。さいたま市や所沢市、川越市等県内各地のみならず、都内や神奈川、千葉など近県からの来場者も多かった。

ただ、連日の猛暑とコロナ感染拡大の影響から入場者総計は482人であった。また、来場者の年代としては60代以上の高齢者の割合が高かったが、中学生や高校生が夏休みの課題として、美術作品鑑賞のために訪れる人数も多かった。高齢者施設に入所されている方が車いす等で見学される機会も作れた。



#### 成果

第88回旺玄展入選作品展示の効果もあり、質の高い作品の展示ができ、それによる芸術活動への意欲喚起や地域文化振興への貢献は達成できた。

ただ、課題として、コロナ感染防止とともに猛暑の時期による見学者減少に対する時期の変更等の検討もしていかななくてはならない。



#### 主催

一般社団法人旺玄会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第27回埼玉県書道芸術展

埼玉県書道芸術連盟 埼玉会館

8月4日(木)～7日(日) 9:00～17:00

### 当日の状況

8月4日から7日までの4日間にわたって開催し、役員・準役員作品のほか、児童生徒部は準特選以上、一般部は秀作以上の作品が陳列された。公開期間中、観覧者は延べ800人に達した。

7日に予定していた表彰式はコロナ禍で今回も中止とした。

### 成果

コロナ禍で予断を許さない状況下ではあったが、多くの観覧者が熱心に丁寧に作品を見ていた。

特に児童生徒部についてはハイレベルな作品が多く、「素晴らしい」「感動した」という声が多かった。

一般作品は会派・書風が様々で、書の多彩な表現や可能性について賞賛の声が多かった。

### 主催

埼玉県書道芸術連盟

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第53回交通安全祈願蘭生書道展

蘭生書道会 川口総合文化センターリリア 授賞式：リリア音楽ホール  
8月27日(土) 9:30~17:00 8月28日(日) 9:30~15:00

### 当日の状況

展示室には一般部・教育部による交通標語作品、鑑賞部・アート書部作品を展示し、8月27日には音楽ホールにて授賞式を挙行了。出品者数1,450点、来場者数3,007人となった。今年もコロナウィルス感染防止対策に協力を仰ぎ、滞りなく終了した。

当日は川口市より80~90%、他県内（熊谷・戸田・日高・杉戸・幸手・越谷・東松山・松伏等）、県外は都内・兵庫からの来場者があり、年齢層は10代から80代までと幅広く、昨年度より多くの来場者数となった。主に内部広報による告知を見て、次いでポスター・会員SNS等で知ったとのことだった。



### 成果

書道展を通じ芸術文化の発展に寄与し、交通安全の意識の啓蒙に務めることが出来、大盛況のうちに終了した。コロナ禍での展覧会の開催は2度目であるが、会員や観覧頂いた皆様の意識も高く、今後の活動に協力的であることを実感した。

### 主催

蘭生書道会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 秋の茶会

埼玉県茶道協会 武蔵一の宮 大宮氷川神社内  
9月10日(土) 10:00~15:00

### 当日の状況

創立66年目、今年地域文化事業埼玉県茶道協会・秋茶会は格式ある武蔵一宮大宮氷川神社にて開催した。当日は天気も穏やかに、当協会顧問の皆様他、ご来賓や県内外から茶の湯を愛する方々約300人が訪れた。

茶席は表千家・裏千家・大日本茶道学会の先生方が各席を担当した。コロナ対策で人数制限と入席時間を指定したので混雑もなく、順次参加者は、各席主の心入れの趣向に席中の秋を楽しみながらお菓子とお抹茶を味わい、席主と正客の会話に真剣に耳を傾けていた。また、休憩処の待合いテントで振る舞った香煎茶も好評だった。

会場は一期一会の時を満喫した笑顔の人々で終日賑わい、お蔭様にて、無事盛会に終了できた。

### 成果

埼玉県茶道協会会員相互の協調と親睦のみならず、県民に広くアピールでき、県内外から幅広い世代が多数訪れた。外国の方も参加し、アンケートでは「これからも、このような茶会を希望する」「お庭も麗しくどの席も素晴らしかった」「時間制で回れたのは大変良かった。スムーズに回り、楽しめた」等々、感謝のメッセージを多数いただいた。伝統文化茶の湯への理解と関心を高め、身近な生活文化の振興に貢献できた。

### 主催

埼玉県茶道協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第20回記念先駆ける美術展

先駆ける美術の会 春日部市中央公民館 ギャラリー

9月13日(火)～18日(日) 10:00～17:00

### 当日の状況

38点（彫刻4点を含む）の作品を展示し、観覧者は6日間で854人であった。

### 成果

本会は、毎年1回美術展を開催しており、会員は会派や派閥に関係なく県展会員以上の作家個人の集合体であるので、個性のある力作が多いとの評価をいただき、毎年レベルアップを目指している美術展である。

今回は記念イベントとしてワークショップ「ペン画を描いてみよう」を実施したところ、定員以上の参加者が楽しく描いていたので、次回も開催する予定である。

美術展は、春日部市の補助金事業であるため、補助金を画集印刷とDM郵送に充当して、画集は、毎年観覧者全員に無料配布、DMは過去2年間の観覧者840人に送付しているため、効果的な用途である。

### 主催

先駆ける美術の会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第65回記念埼玉書道展

埼玉県書道人連盟 埼玉県立近代美術館 一般展示室1・2・3・4  
9月16日(金)～9月18日(日) 10:00～17:30 (最終日は16:00まで)

### 当日の状況

65回記念展では、612点（前回比16点減）の作品を展示した。最年少19歳から最高齢95歳まで、出品者の年齢層は幅広い。また、県内55市町村からの出品があり、ほぼ県内全域に及んでいる。今回3回目となる「高等学校臨書の部」では、145点（前回比7点増）の作品が集まった。陳列総数は合わせて757点（前回比9点減）であった。

18日(日)、浦和ワシントンホテルにおいて、一般部と高校臨書の部で分けて授賞式を挙行了。授賞式後、同会場で「埼玉県書道人連盟創立70周年記念講演会」も開催し、100人の参加があった。

最終日は、台風の影響で大雨に見舞われたが、3日間の参観者総数は1,100人で、前回よりも約200人増えた。コロナ禍の中ではあったが、たくさんの方に作品鑑賞をしていただけたと考えている。

### 成果

アンケート結果では、「県内で有力な先生の作品も見られて有意義だった。いろいろな書風があって楽しめた。墨の色、紙の色も様々で美しい。書道の奥の深さに感激した。」などの声が多く寄せられ、レベルの高い書道展であることを多くの方々に認めていただいた。

また、今回で3回目となる高等学校臨書の部についても、「高校生の作品がすばらしい。良い試みである。若い人たちの発表の場がたくさんあると良い。」といった好意的な意見が多かった。

### 主催

埼玉県書道人連盟  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



公募作品



役員作品



高等学校臨書の部作品

## 第75回秩父写友会写真展

秩父写友会 秩父地域地場産業振興センター 2階展示コーナー  
9月18日(日)～22日(木) 10:00～17:00

### 当日の状況

毎月1回の例会にも課題の「秩父の道」写真を持ち寄り、出品者同士の重複の無いよう調整しながら作品作りを行った。

会期中は、出品者が毎日2～3人会場の受け付けをし、展示作品について来場者からの質問や撮影場所を聞かれた場合、受付担当者がそれに答えた。また、今回の写真集の販売をした。

今回は出品者も多く、20人のモノクロ写真を半切額に50点額装展示した。



### 成果

5日間の会期で353人の方々が来場し、写真集も17冊お買い上げいただき、秩父の道に関心を持っていただいていると感じた。

また、会場内に並べた過去の37冊の写真集を長時間熱心に見て質問等が何件かあったことは、私たち出品者にとって、今までの努力が報われた気持ちでいっぱいであった。

### 主催

秩父写友会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第29回熊谷市民短歌大会と作品（色紙・短冊）展

熊谷短歌会

短歌大会 9月25日(日)

熊谷市立市民ホール

作品展 9月21日(水)～25日(日)

熊谷市中央公民館展示ホール

### 当日の状況

熊谷市民短歌大会は、会場の入場制限により、受賞者・来賓・熊谷短歌会役員のみとした。

表彰式には、市長・市議会議長・教育長・公民館長・文連会長・埼玉新聞県北支社長・FMクマガヤ社長等が出席、表彰式が実施された。

作品展は、役員と市民にも公募。結果、出展者26人・出展作品数42点であった。



### 成果

令和4年度の熊谷市民短歌大会は、108人・216首と過去最高であった令和3年度をも上回り、大会始まって以来、過去最高の参加者数を記録した。

また、令和4年度は、視聴覚障害者の参加もあった。作品展の来場者は約200人。

### 主催

熊谷短歌会 熊谷市文化連合  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第22回ちちぶ民謡・民舞の祭典

秩父民謡団体連合会 秩父市福祉女性会館ホール

9月24日(土) 10:00~16:30

### 当日の状況

会員が8時30分の集合に合わせ準備にかり、10時に開演した。13時から式典が行われ、北堀市長、新井県議、村外文化資源課副課長の出席にて式典は終了した。演目も16時30分に秩父音頭唄踊り（秋蚕しもうて、麦まき終えての歌詞）で終演した。

新型コロナウイルス感染症対策のため、唄やおはやし、尺八他はフェイスシールドを使用し、一般入場者他全員、体温測定、消毒、マスクを着用し、会場の換気等の対策を取った。また、コロナ対策注意書きを壁に貼り、一般入場者にも協力を仰いだ。



### 成果

今年のテーマとして、秩父地域、地場の唄の普及に特に力を注いだ。ワークショップを行い、横2.3m×縦1mの模造紙に8曲の歌詞を書いて舞台前に貼り出すことで、会員、一般入場者共に唄の伝承への取り組みを実行できた。地場の唄が20曲あまり存在しているので、今後も少しずつ広めていこうと皆で誓い合った。特に、市長や県議から今後の団体の活動に対する理解と協力を得られたことは大きな収穫だった。



### 主催

秩父民謡団体連合会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第29回埼玉県百人一首大会

埼玉県かるた協会 戸田市スポーツセンター

9月25日(日) 9:00~19:00

### 当日の状況

埼玉県内に在住、在学又は在勤をしている方及び県内で競技かるたの活動をしている方を対象として行われた本大会であるが、競技人口の増加に伴い、初心者を対象として開催した。

また、新型コロナウイルス感染症の影響により、3年ぶりの開催となったが、従来よりも参加人数を制限し、また、時間差による選手の入場、消毒液設置、パーテーションの配置等、感染リスクの軽減に努めた。

### 成果

近年、競技かるたがマンガ、アニメ、映画等の様々な媒体で取り上げられることで、県内の競技人口は着実に増加を続けている。特に初心者の増加が顕著であるが、一方で、大会に参加する機会が少ないことから、全国大会においてはマナーやルールの理解が不十分な様子も見られている。

今大会が初めての大会参加となる初心者がこの大会を通して、競技技術の向上やルールやマナーの習得ができるよう、ルール、マナー、大会参加時の注意事項等の説明を適宜、行いながら運営を行った。

新型コロナウイルス感染症の影響により、所属する学校や部活動以外で練習する機会が減っている中、県内の選手の貴重な交流の機会でもあることから、引き続き、感染症対策に留意しながら、開催をしていきたい。

### 主催

埼玉県かるた協会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 埼玉県こども動物自然公園アートフェスタ2022

アートフェスタ実行委員会 埼玉県こども動物自然公園

10月1日(土)~12月29日(木)

### 当日の状況

アートフェスタ実行委員会は、「プロ・アマチュアを問わない現代アート作品の展示により、公園内を活性化するとともに、アートを通じたコミュニケーション形成を目指す」というコンセプトのもと、埼玉県の公園で継続して活動を行ってきた。14年目を迎える本年も、埼玉県こども動物自然公園の会場を舞台に作品を募集した。

### 成果

今年は恐竜に焦点を当て、未だ解明されていない恐竜の生態を、自由にアートの切り口から発想し、恐竜の研究室のような会場構成を考えた。①「恐竜AR風コラージュ」(写真によるコラージュ作品)、②「恐竜の化石ラボ」(粘土による化石風の作品)、③「恐竜の卵ラボ」(卵型の発泡スチロールによる卵のデコレーション作品)を題材に、県内外の中・高等学校、特別支援学校、障害者施設に作品を募集したところ、8団体500名の参加があった。どの作品も生涯学習の場において、楽しく造形活動に携わったことが窺えるもので、園内の広場を長期間彩ることができた。

また、道行く来園者の方々も、子供たちの思い思いの作品を間近で見ることによって、「どうやって作ったのかな?」「私も作りたい」というような声をたくさん聞くことができた。

本年も、動物園のご意向により長期間の展示が可能になるとともに、参加者全員が一つのテーマに沿った作品制作を行うことで、アートに気軽に触れることのできる空間を演出できたと感じている。

### 主催

アートフェスタ実行委員会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 折り紙夢工房作品展

折り紙夢工房 川口総合文化センター リリア 3Fギャラリー  
10月2日(日) 13:00~17:00 10月3日(月) 10:00~17:00

### 当日の状況

名誉主宰である金杉登喜子先生が令和4年3月に逝去されたことから、「金杉登喜子先生を偲ぶ」コーナーを設け、生前制作された折り紙や木彫り、油絵などの作品を展示し、追悼した。その他、掛け軸を用いた軸装展示や折り紙夢工房会員共同で追悼記念作品を制作し展示した。

### 成果

偲ぶコーナーでは、「懐かしい先生の作品を観て幸せになった」、「作品を観て先生を思い出した」、「追悼にふさわしい作品展」とのお声をいただき、金杉登喜子先生との思い出に浸る方が多くおられた。

また、コロナ禍に配慮し、昨年同様「折り紙実演コーナー」を実施し、「覚えて、家で子どもと一緒に折りたい」、「童心に帰って遊んだ日を思い出した」など喜びのお声を多くいただくことができた。

### 主催

折り紙夢工房  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 公募第54回第一美術協会埼玉支部展

第一美術協会埼玉支部 埼玉県立近代美術館

10月4日(火)～9日(日)

### 当日の状況

会期中は雨模様の日が続いたが、来場者の中には、作品の一点一点を熱心に鑑賞する人も多く見受けられ、絵の前で感動している姿が印象的であった。

来場者の多くは県内在住であるが、県外からも団体関係者が来訪するなど、絵画を通じて文化交流ができることへの意義を感じた。

作品については、個性の光る、色彩豊かな油彩画や水彩画、その他には水墨画、モザイク画、彫刻と、多様な作品の出品があった。



### 成果

出品者数116人、出品点数182点、入場者数1,086人。

この中には、「さいたま桜高等学園美術部」13人の作品13点もあった。

来場（見学）いただいた人の中には、絵の鑑賞や絵を通じて交流を楽しんでおられる人だけでなく、絵を描くことを人生の楽しみとしている人も相当数おられた。

日々の生活の中で文化的な楽しみを持つ人たちが交流できる、よい空間となった。



### 主催

第一美術協会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## とめきち芸術祭 ベビーカーコンサート

特定非営利活動法人 共同生活推進協議会 浦和コミュニティセンター 多目的ホール

10月6日(木) 10:50~11:30

### 当日の状況

東京藝術大学卒業のプロの演奏家3人を迎え、パーカッションと歌とクラリネットのコンサート。乳幼児157人を含める336人のたくさんの親子が来場した。

会場では、泣いてもぐずっても大丈夫。クラシックだけでなくアニメや童謡など、子どもたちが大好きな曲が楽しめる。手作りの大型絵本を使い、会場に語り掛けながらプログラム曲を進める。ベビーカーは会場内に置ける。演奏前後には、協賛企業の着ぐるみも登場し、楽しいダンスや、一緒に写真を撮る時間もつくり、子供たちを飽きさせない工夫をした。



### 成果

0歳、1歳、2歳児の親子がほとんどであり、一般的な「就学未満お断り」、「3歳未満お断り」、のコンサートでは音楽を聴きに行けない親子が安心して来場できている。実施したアンケートでは、「40分とコンパクトな時間で様々な楽器やリズムに触れられ2歳児も楽しんでいました。」、「赤ちゃん向けコンサート、泣いてもぐずっても大丈夫なものもともと少なく、とてもよい取組みだと思います。」、「音楽がはじまると0才の我が子が泣きやみ、ステージに顔をむけてみました。親のリフレッシュにもなりました。」という声をたくさんいただいた。

また、大好評の運営ボランティアとして、学生・社会人・セカンドシニア（さいたま市セカンドライフ支援センター「り・とらいふ」ボランティア）の方々、企業参加の方々など、総勢31人が会場運営を支え、多世代で地域文化を通しての子育て支援をすることもできた。

### 主催

特定非営利活動法人 共同生活推進協議会  
みにこん会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 熊谷市文化祭 第72回公募洗風会書道展

洗風会 熊谷市中央公民館大ホール

10月8日(土)～10日(月・祝) 9:00～17:00

### 当日の状況

令和4年度も、授賞式・祝賀会は、新型コロナウイルスの感染が子供たちに増えているので、中止をし、作品展示のみの実施となった。

作品展示は、8日から3日間行い、約150人来場した。作品出品点数は、一般部が22点、学生部が43点、役員が21点合計86点となった。

### 成果

作品は、各教室の閉鎖が続き、会員が減少した結果、一般の出展が減少してしまった。

来場者は、地元熊谷市の方が多く来場した。その他市町村では、さいたま市、深谷市など近隣の市町から来ていただいた。

性別では、男性より女性が多めに来場した。

年代別では、60代から70代が多く来場した。新たに参加した教室の小中学生の来場が多くあった。

### 主催

洗風会

熊谷市文化連合

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第38回邦楽（箏、三絃、尺八）のつどい

川越市三曲会 川越南文化会館  
10月9日(日) 12:00~14:30

### 当日の状況

川越市は今年、市制100周年の大きな節目を迎えた。定期演奏会はコロナ禍により2年間休演したが、この100周年を盛り上げるべく数えて第38回目の演奏会を開催することにした。

当日は雨を心配したが、幸い穏やかな一日であった。手指の消毒や密を避ける、ホール出入口の扉を開けておくなど、コロナ対策を十分に行った上でお客様をお迎えした。

休演後3年目の開催であったが、“邦楽のつどい”を待っていて下さった、市内及び近隣の邦楽ファンの皆様が大量来て下さり、来客数はこれまでで最も多く盛況であった。



### 成果

25歳から83歳までの幅広い年齢層の50人、10団体が出演した。演奏曲目は現代曲、古典曲を交えてバラエティに富んだ内容とした。お客様に楽しんでいただけるプログラム（16曲）を用意して日頃の成果を十分に発揮し、地域文化の発展に貢献することができた。出演者は高齢者が多い中で、今回は20歳代、30歳代の若い男性2人が箏を演奏し、会場を盛り上げた。

アンケートでは“コロナ禍での開催をありがとうございます”“久しぶりに聞く日本の音色に心が洗われました”“これからもずっと続けてほしい”など、嬉しいお言葉をいただいた。



### 主催

川越市三曲会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 第32回さきたま連句大会実作会

埼玉県連句協会 川口総合文化センター リリア

10月9日(日) 12:00~16:00

### 当日の状況

さきたま連句大会の特徴は、愛媛県松山市で開催される「えひめ俵口全国連句大会」とともに芭蕉俳諧の主流となった36句を連ねる歌仙形式の連句のすばらしさを広めることにあり、全国的にも稀有な存在となっている。

参加者23人が“埼玉といえば”にちなむ席名の6座に分かれて開会式（磯会長挨拶、県実行委員会会長メッセージの代読、来賓ご挨拶、県担当者のご紹介）と進んだ。その後、各句座の捌きにより連衆の自己紹介や進行上の注意などを確認し、連句実作が進められた。

歌仙形式の連句は長句（五七五）と短句（七七）を交互に連ねて36句目を揚句として満尾する。通常は楽しく会話しながら3ないし5時間を要するので、本日巻き上がらない座においては宿題となり、捌きの指示により作品は後日事務局に提出となる。そのような事務的連絡を終え、来年の再会を約して、つつがなく第32回さきたま連句大会実作会は終了した。

### 成果

連句は連衆と呼ばれる実作者が一堂に会して互いの句を付け合う文芸である。そのため、コロナ禍の下で全国的にも文音やリモートの連句が小規模に興行される中、三密回避対策と入・出場毎の手指消毒を徹底して連句本来の句座による連句大会を再開したことは、日本連句協会会長から高く評価された。

また、参加者からも、久しぶりの対面句座で連句本来の当意即妙を楽しく体験できたことや、捌きの指導もその場で直接受けられたことに対面句座の良さを改めて実感し、今大会が今後の句作の励ましになったとの言葉をいただいた。

コロナ禍における今後の連句興行に今回のさきたま連句大会が一つの範を示すことができた。

### 主催

埼玉県連句協会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## アミーゴ秋まつりvol.15 いるまクラフトフェア

特定非営利活動法人 入間市文化創造ネットワーク 入間市文化創造アトリエアミーゴ  
10月9日(日)・10日(月・祝) 10:00~16:30 (10日は16:00まで)

### 当日の状況

4年ぶりに開催することができ、天気にも恵まれ、クラフト出展者はじめ、参加者や来場者は久しぶりの再会を喜びあった。コロナ禍のためクラフト出展者をこれまでの出展者の中から15展に限定、テラスライブの出演者も半分にして規模を縮小。チラシ配布も近隣のみとして来場者数を制限したため、来場者はゆったりとした雰囲気の中、クラフト作品をみたり、ワークショップを体験したり、テラスライブの音楽やダンスパフォーマンスを楽しんでいた。2日間で2,500人の来場者があった。



### 成果

来場された方たちと話したり、アンケートからも久しぶりの開催で嬉しいという声が多くあった。地域の中で毎年楽しみにされていることがスタッフも実感でき、継続していくことの大切さを感じた。

アンケートより：『久しぶりの開催でとてもうれしいです。手軽にワークショップに参加できて、私も子供も大好きなイベントです』『地域に密着した感じが良かった』『ワークショップがあるので楽しかった』『子供たちが木や布など自然のものに触れられるのがとても素晴らしい』『手作り品などを子供と観ることができて良い体験になりました』『地域の人との交流ができる良い場だと思います』などの感想があった。



### 主催

特定非営利活動法人  
入間市文化創造ネットワーク  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第40回武蔵野書展

武蔵野書人会 ウェスタ川越  
10月14日(金)~17日(月)

### 当日の状況

初日は会場設営をし、正午にテープカットで書展がスタートした。会期中は好天に恵まれ来場者も多かった。

作品サイズは今回から統一されたものの、色々な書体、作風で来場者を魅了した。

コロナ禍で入場者全員に体温・氏名・電話番号を記入してもらった。入場者は殆どが友人、知人、親族等で子供は少なかったが、幅広い年齢層だった。

### 成果

県内、県外、米国から201人の出品作品が展示され、国際交流を一層深いものにした。

また、85才以上の出品者をたたえる「寿章」を4人が受賞した。残念ながらコロナ禍で表彰式は中止となったが、全員に40回展記念品を配り大変喜ばれた。

### 主催

武蔵野書人会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



# おけがわ市民芸術文化祭2022

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会 桶川市民ホール他  
10月20日(木)～11月13日(日)

## 日 時

- 芸能の広場 会場：桶川市民ホール ホール 10月22日(土) 9：30～16：00
- 器楽・邦楽の調 会場：桶川市民ホール ホール 10月29日(土) 13：00～16：10
- 合唱フェスタ2022 会場：桶川市民ホール ホール 10月30日(日) 13：00～15：50
- 総合アート展 ギャラリー作品展示 会場：桶川市民ホール ギャラリー  
10月20日(木)～10月30日(日) 10：00～17：00  
総合アート展 菊花展 会場：べに花ふるさと館  
11月2日(水)～11月13日(日) 10：00～17：00

## 当日の状況

「芸能の広場」は13団体が出演し、ダンスやよさこい、相撲甚句、民謡など様々なジャンルの発表を行った。

「器楽・邦楽の調」は8団体が和楽器や吹奏楽などの演奏を行った。

「合唱フェスタ2022」は13団体が参加し、2年ぶりの公開（昨年度は無観客開催）に多くの来場者があった。

「総合アート展」は212作品の出展があり、高校生の作品展示や生け花が会場を彩った。

## 成 果

「芸能の広場」は、小学生以下のダンスチームから89歳の舞踊出演者まで、幅広い年齢層の出演があった。

「器楽・邦楽の調」では、演奏への好評の他、出演者からも発表の機会を喜ぶ声が多く聞かれた。

「合唱フェスタ2022」は、感染対策を講じながら練習を重ねてきた団体が、ステージで歌う喜びをあらわに練習の成果を発揮した。観客からも「合唱の楽しさを再認識した」「来年も楽しみ」「元気をもらった」などのお言葉を頂戴することができた。

総合アート展は、出展作品数が減少したものの、市内高校の生徒による出展が増え、多くの来場者が力作を鑑賞した。「創作意欲が湧いてくる」「文化の発展にとってもよい」などの声もいただけた。

## 主 催

おけがわ市民芸術文化祭実行委員会 埼玉県 埼玉県教育委員会 埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第16回こどもライブフェスタ2022

特定非営利活動法人 子ども劇場おやこ劇場埼玉センター 草加中央公民館他  
10月23日(日)～12月4日(日)

### 当日の状況

16回目となった今年の「こどもライブフェスタ」は、引き続きコロナ禍での人数制限があったものの、県内12市40ヶ所で開催することができ、延べ約4千人の参加者が近隣の会場で様々な企画を楽しむことができた。

### 成果

学校や地域での体験活動の場が少なくなり、マスク生活も継続中であったが、子どもたちのために貴重な体験の場をつくることができた。我慢を強いられることの多い子どもたちが、笑顔で楽しんでいる様子が各地でみられた。「県民の日を子どもの文化の日に」を目指し、コロナ禍でも子どもの文化の灯をともし続けたい。

### 主催

特定非営利活動法人  
子ども劇場おやこ劇場埼玉センター  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第43回太平洋埼玉展

太平洋美術会埼玉支部 埼玉県立近代美術館

10月25日(火)～30日(日) 10:00～17:00

### 当日の状況

油絵、水彩、また版画、染織と支部同人の作品、招待作品、一般応募作品の計87点を展示した。出品作品は原則として20号以上で54点あり、この中、100号以上の大作は11点となった。また、審査対象外の小品（15号以下）は33点であった。

### 成果

6日間の開催で、さいたま市を中心に815人が来場した。千葉県、神奈川県など県外から来られた方もいた。

「毎年来ているが、作品が向上している。」  
「この企画を継続してもらいたい。展示作品に幅があり、それぞれの作品がその題材に向き合っていて感心した。」  
「いままで県の主催とは知らなかった。来年もぜひ来場したい。」などの感想が寄せられ、大変好評であった。最終日には受賞式を行い、埼玉県知事賞、太平洋美術会奨励賞をはじめ12名に各賞を授与した。

太平洋埼玉展は、県内の美術愛好家が絵画鑑賞を楽しみ、また自ら作品を発表する場として43回にわたり開催しており、今年度も充実した内容で実施することができた。

### 主催

太平洋美術会埼玉支部  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第31回全国平成水墨画展

全国平成水墨画協会 埼玉会館

10月29日(土)～11月2日(水) 10:00～17:00

### 当日の状況

今年の水墨画展も、昨年に引き続きコロナの影響もあり、出品者・入場者数ともに激減した。これらのことが原因なのか、今年の入場者は水墨画がもともと好きな人が多かったが、だからこそ熱心に見てくれていて、とても嬉しいことであった。

### 成果

コロナの影響下でも会場に足を運んでくれた今年の入場者は、毎年会場に来てくれている水墨画が好きな人が多く、会場内で、現代の水墨画及び今後の水墨画について親身になって話し合ってくれたことは、とても嬉しいことであった。

### 主催

全国平成水墨画協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 埼玉県歌人会第126回秋季短歌大会

埼玉県歌人会 さいたま共済会館  
10月30日(日) 13:00~17:00

### 当日の状況

コロナ禍で紙上大会を余儀なくされていた短歌大会を、観客を入れ選者と出詠者が対面で歌会をするという従来通りの形に戻しての実施は、実に3年振りであった。今回は第一部として、沖ななも会長の講演を企画し、その効果もあって観客数が大幅に増え、会場が人で埋まった。それは久しぶりに見る感動的な光景であった。講演のタイトルは「大西民子のめざしたもの」で、民子と親交のあった沖会長ならではのエピソードもまじり、特に民子の歌の読みについての話は興味が尽きないが、時間はまたたく間に過ぎ終演となった。

第二部の短歌大会は、選者6人と司会者がずらりと並び、出詠者と相對して入選歌を順番に批評してゆくさまは、まさしく対面歌会そのものであった。

そのあと表彰式に移り、知事賞をはじめとして16人の方にそれぞれの賞状や盾などが授与され、喜びを分かち合い、散会となった。本来ならば、この後懇親会を開き、受賞者一人一人に喜びの言葉をいただくのだが、今回まだそこまではできなくて残念であった。

### 成果

今回は募集期間にあたる7月8月が特別に暑かったせいか、前回に比べて応募数が減ったが、それでも117人、234首の歌が集まった。傾向としては、コロナも下火となり行動制限もなくなり、祭りなど地域の行事が徐々に復活して、今までのマスクの歌や閉塞感のある日常から脱出し、かろやかな明るい歌が多く見られた。短歌は世相を敏感に反映するものであることが如実に現れていた。それはとても印象的であった。

### 主催

埼玉県歌人会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 津軽三味線コンサートみんようまつり2022

津軽三味線貢治会 飯能市市民会館大ホール

10月30日(日) 14:00~15:40

### 当日の状況

コロナ禍ということで、ご来場の皆さま、出演者・スタッフ全員にマスク着用や手指消毒など感染症対策へのご協力をお願いしての開催となった。

感染者がでた際の保健所連絡用として、入場券にお名前・電話番号をご記入いただき、入場時に回収。また、看護師も例年の倍の人数を配置し、万全の態勢で臨んだ。

本番1か月前の打合せ時に両隣1席ずつ空けるなどの入場制限をしなくて良いと聞き、そこからチラシ配布を開始したにも関わらず、予想以上の来客数だった。

### 成果

大盛況の緊張感の中、小学生からご高齢者まで幅広い年代の出演者がそれぞれ目標を定め頑張っていた。皆さまの安全を最優先に考慮し、無事に舞台を開催できたと安心している。

感染症対策で歌は舞台上で歌わず、事前に個々で録音した音声を会場で再生し、それに合わせ演奏したが、生で歌っていると勘違いされるほど上手くいった。

ご来場の皆さまの満足の声を後日たくさんいただき、各音楽関連の専門家の高評価もあり、伝統芸能の普及に貢献できたと思う。次回に向け意気込む出演者たちの姿に、伝統芸能の継承、後進の育成にも貢献できていると感じられた。いただいた皆さまのご意見・ご感想を見れば、大成功だったと言える。反省点は改善し、次回さらに良い舞台になるよう精進したい。

※動画共有サイト「YouTube」にて舞台風景を配信

### 主催

津軽三味線貢治会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第38回上尾市文化芸術祭

上尾市文化団体連合会 上尾市コミュニティセンター

11月3日(木・祝)～6日(日) 9:00～17:00

### 当日の状況

3日、午前10時からの開会式では、島山上尾市長はじめ、市議会議長・上尾市教育長・地元選出の衆議院議員・県議会議員から激励の祝辞をいただいた。

公演部門では、開会式の後、午前11時から邦楽邦舞の演奏が行われた。まず、邦楽邦舞会員21人が箏の演奏を14曲行い、次に8人が尺八の演奏を2曲行った。最後に、上尾高校箏曲部8人による2曲が演奏された。最初の箏の演奏中に、茶道の特別参加でお茶を来賓の方々に嗜んでいただいた。

5日、吟剣詩舞道では、会員62人が出演し、尺八の伴奏で美声をホールいっぱいに響かせた。

展示部門では、3日～5日にかけて、いけばな協会の41人の作品を展示し、3日～6日にかけて、美術家協会の21人の作品を展示した。

実技部門の囲碁連盟では、3日にノーハンドの上尾囲碁名人戦（参加人数14人）を実施した。同日、男女囲碁ペア戦（参加人数16人）を行った。4日及び6日には、囲碁連盟加入のサークル対抗団体戦を行った。1チーム3人でAクラス8チーム、Bクラス8チーム参加した。5日は自由対局を実施した。

将棋連合会は、コロナの関係で今回は参加を見送った。

### 成果

一般来客者に加盟5団体の1年間の成果を見たり聞いたりしていただいて、上尾の文化向上に改めて感心と感動を与えた。

### 主催

上尾市文化団体連合会  
埼玉県 埼玉教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第14回熊谷ひばりピアノコンクール

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会 熊谷文化創造館さくらめいと「太陽のホール」  
11月5日(土) 10:00~18:00

### 当日の状況

万全のコロナ対策をして開催に至り、参加者の減少も危惧していたが、無事に開催をすることができた。幼児から、専門的な部門や趣味の大人の部門の方まで幅広い年齢層の方に参加していただいた。

### 成果

目的に「地域の芸術文化向上、生涯学習としてのピアノ演奏の理解を深め、音楽的情操教育の発展を目的とする。」とあるように、「ピアノ演奏の場の提供」という面で、幼児から、ピアノ愛好者の部門まで幅広い年齢層の参加に、成果を感じた。大きなステージで、ピアノの最高峰のスタインウェイのフルコンサートピアノで演奏できる貴重な場所の提供ができ、また、参加者の緊張と演奏する喜びにあふれた顔や、達成感を開催者側からも感じる事ができ、大変うれしく思った。

### 主催

熊谷ひばりピアノコンクール実行委員会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第6回幸墨会一門展

書道研究 幸墨会 イオンモール羽生 イオンホール

11月5日(土)～7日(月) 10:00～18:00

### 当日の状況

11月5日から7日まで3日間にわたって開催された。書道技術向上を目指す会員の掛け軸・額装等、硬筆・仮名・臨書・創作等の作品106点を展示。来場者816人の方々を迎えて会員の各種作品に関心が集まり、会場内は静かに鑑賞する雰囲気の中、感動、感心、興味を示す人達の表情が其処彼処に溢れていた。

### 成果

書を通じて会員相互の親睦と信頼関係の向上がはかられ、自らの書道技術の向上を目指す展覧会となった。展覧会を応援して下さる各界の方々の来場を迎え、また、協賛をいただいている「イオンリテール(株)」の協力により、華やいだ展覧会を開催することができた。

県北地域での精神性の高い書道芸術展の開催に関係者一同自信と誇りが生まれ、早くも来年度の開催に向け更なる努力を続けようとする会員達の強い自覚が生まれた。最終日は来場者、関係者に惜しまれつつ展覧会の幕は下ろされた。

### 主催

書道研究 幸墨会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第10回彩の国埼玉 ジュニア桴（ばち）の祭典

埼玉県太鼓連盟 深谷市花園文化会館アドニス

11月20日(日) 13:00~14:40

### 当日の状況

来場者用にA I顔認識温度検知・自動噴霧消毒機を設置すると共に、座席を1席おきする等の感染症防止対策を講じた。定員711名のところ200名程の来場者であったため、十分なソーシャルディスタンスが取れた。声を出しての応援を禁止し、拍手だけの応援であったが、観客の熱のこもった応援を受けた出演者は、ジュニアらしい元気のある演奏ができた。

### 成果

来場者の大多数は、出演者の家族と思われるが、和太鼓が好きな一般客の来場も見受けられた。

演奏会を通して、参加者相互の交流を深めると共に、地域の伝統文化の継承・振興と青少年の健全育成及び日本太鼓の普及を図ることができた。

### 主催

埼玉県太鼓連盟

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第47回埼玉県西部地区合唱祭

埼玉県西部地区合唱連盟 坂戸市文化会館「ふれあ」

11月23日(水・祝) 10:00~17:00

### 当日の状況

第47回埼玉県西部地区合唱祭は、昨年に続きコロナ禍の中、感染者数増加傾向下での開催であったため、一般客無しで実施した。

濃厚接触の疑いから、感染拡大防止のため前日に出演辞退申し出の団体もあり、出演団体25（女声16団体、男声2団体、混声7団体）、出演者数は、指揮者と伴奏者を含め483人（加盟団体団員の7割強）での合唱祭であったが、困難な状況下でも練習を続けてきた成果を聴き合い、合唱の魅力を楽しめる一日となった。

感染防止の観点から、演奏時もマスク着用、手指消毒等対策を徹底して行った。



### 成果

昨年の第46回は出演団体16であったが、今回までの間に練習会場の公共施設使用制限が緩和され、練習再開できた団体も多く、今回は25団体参加（9団体増）で実施できた。

感染の状況から、残念ながら今回も一般客無しでの開催であったが、出演者どうしで聴き合う良い機会となり、文化活動を継続し発表する意義や重要性を再認識することができた。



### 主催

埼玉県西部地区合唱連盟  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 埼玉県三曲協会創立30周年記念演奏会

埼玉県三曲協会 響の森桶川市民ホール  
11月23日(水・祝) 11:00~17:00

### 当日の状況

昨年同様感染症対策を厳重にした上での実施となった。降雨の中での開催ではあったが、30周年の記念演奏会ということもあり、例年以上のお客様をお迎えすることができた。会員も節目の演奏会という自覚を持って、準備から演奏まで取り組んだ。さらに、テレ玉の取材もあり、当日の夕刻と夜にニュースで取り上げていただいたことは協会として存外の慶びであった。

### 成果

当協会が数年来実施している子供のためのお箏教室の生徒たちも発表をしたことで、三曲という我が国の伝統文化を若い世代も取り組んでいることが示せた。

幅広い年齢層により古典から現代曲まで様々なジャンルの楽曲を演奏したことは、三曲の多様性、そして魅力を十分にアピールすることにつながった。

昨年導入した動画配信は反響が大きく、当日来場できなかつた方にも観ていただける等、馴染みのない会員にも効果が判りやすい施策であり、昨年以上の規模で実施した。

### 主催

埼玉県三曲協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第30回埼玉読売写真クラブ総合写真展

埼玉読売写真クラブ プラザノース 2階ギャラリー

11月24日(木)～30日(水) 9:00～17:00

### 当日の状況

1週間の日程で開催し、出展数227点の中から、厳正な審査をへて知事賞の他28点の賞が選ばれた。

コロナの影響等でお客様が少ないかと懸念したが、県内各所から関係者や買い物帰りのご夫婦、学校帰りの大学生、中高生の方達に大勢ご来場いただき、会場内は大変な賑わいとなった。

また、会場内では、当日の担当者に作品の撮影場所、シャッタースピード等を質問されることもあり、忙しい1日だった。

### 成果

本展覧会には、延べ656人と多くの方々が来場した。貴重なご意見、ご指導、ご助言をいただき、大いに参考になり、今後の励みになった。

また、来場者の方々から当クラブの写真技術が高いとの高評価も多々いただき、今後の写真技術の向上につながると思っている。

なお、次回作品展には更に皆様に喜んでいただけるよう、仲間と一緒に良い作品づくりに一層の努力をしていきたい。

### 主催

埼玉読売写真クラブ

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会





## 彩西美術展'22

彩西美術会 坂戸市文化会館「ふれあ」

11月29日(火)～12月4日(日) 10:00～17:00

### 当日の状況

県西部において、独創的で個性的な創作活動を展開する作家の作品を一堂に展示し、県西地域における美術理念の向上に資することを目的として、平成19年12月に「新創彩西美術展」を開催。以来今年で16回目、県芸術文化祭地域文化事業としては11回目の開催となった。

今回も出展者59人の作品は、具象から抽象、立体作品まで幅広いジャンルに及び、72点の展示それぞれには作品のメッセージ表を掲示し、作者の制作意図や技法について解説した。また、今回は初めての試みとしてギャラリートークを開催し、予想以上のギャラリーの参加があり、好評だった。



### 成果

今回の来場者は674人で、男女の割合は半数ずつのようだった。年齢層も60～70歳代が中心だった。アンケート調査の回答は126人で、東京の展覧会を観に行きたいがなかなか行けないという方も多く、地域でこのような展覧会を観れることはありがたいという言葉をいただいた。今回は具象、抽象、竹細工、習字、墨絵、彫刻（材料は新聞紙、ボンド）、トイレットペーパー、障子紙を巻物仕立てにして絵を描いたものなどを展示し、来場者に楽しんでいただいた。



### 主催

彩西美術会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉芸術文化祭実行委員会



## 第34回サンシティ市民合唱団定期演奏会

サンシティ市民合唱団 サンシティ越谷市民ホール  
12月4日(日) 14:00~17:00

### 当日の状況

コロナ禍3度目の演奏会。昨年と同様、開場を早め、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開場時に密にならないよう整列を促し、検温、手指の消毒、プログラムはご自身で取っていただくようお願いした。昨年同様、長年続けてきた保育室設置、リハーサル公開、ロビーコンサートを中止し、全指定600席に席数を限定し開催した。来場者約300人。

### 成果

今回の演奏会は、再び一般公募による「第九」のステージを設け、好評を得た。昨年より参加者が増え、新しい出会いがあった。コロナ禍に歌い繋いでいくという心を共有し、「第九」の神髄に迫るものである。モーツァルトのミサ3曲のステージは、歌う方も音楽に心癒され、力をいただいた。アンケートにも、「この演奏を聴き元気と勇気を頂いた」「心が癒された」「コロナ禍にあって心やすらぐミサ曲、心に沁みた。有難うございました」等感謝を含め今後の活動への激励をいただき、開催したことの意義を再確認した。

### 主催

サンシティ市民合唱団  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 図書館と県民のつどい埼玉2022

埼玉県図書館協会 オンライン開催

12月10日(土)・11日(日) Live配信 (後日配信及びWEB展示は1月31日(火)まで)

### 当日の状況

「図書館と県民のつどい埼玉」は、本に興味を持っていたきたい、図書館について知っていたきたい、という思いから始まったイベントで今年16回目を迎えた。

令和3年度に続き、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点からオンライン開催となった。

作家・門井慶喜さんの記念講演、絵本作家・高柳芳恵さんの講演会、中学生のジブリオバトル決勝、司書が語るLiveイベントのLive配信を行った。また、司書が魅せるWEB展示と称して県内公共図書館、高校図書館、大学図書館などによる展示を特設サイトで公開した。



### 成果

実施したアンケートでは「図書館に行こうと思った」「とても楽しく勉強になるイベントだった」という声をいただいた。

また、「オンライン開催のおかげで県外から参加できた」「後日配信で見たい時に見ることができて良い」という反響があった一方、オンラインとリアル両方での開催やリアル開催を求める声も多く見受けられたため、令和5年度に向けて検討を行う。



### 主催

埼玉県図書館協会

埼玉県学校図書館協議会

埼玉県高等学校図書館研究会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第56回全日本書道芸術展

全日本書道芸術院 埼玉県立近代美術館  
12月13日(火)～18日(日) 10:00～17:30

### 当日の状況

今回から条幅部門をもうけ出品料無料としたことで、応募が多数あったが、厳選を貫き、総体的に出品数は新型コロナウイルス感染症の影響で少々落ちた。しかし、内容は水準を保った。

### 成果

鑑賞する人々の中には、様々な書の書体表現がある本展に興味を持って質問してくださる人もいて、他展にない自由多彩な表現の展覧会としての成果をあげることができた。

### 主催

全日本書道芸術院  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第57回「郷土を描く児童生徒美術展」

一般社団法人 埼玉県校外教育協会 埼玉県立近代美術館

12月24日(土) 10:00~16:30 12月25日(日) 10:00~16:00

### 当日の状況

埼玉県立近代美術館を会場に2日間の日程で開催し、中央審査会の審査を経て選ばれた知事賞120作品を展示した。

県内各所から600人を超える方々に御来場いただき、広いスペースにゆとりをもって飾られた作品を、落ち着いた雰囲気の中で鑑賞していただいた。

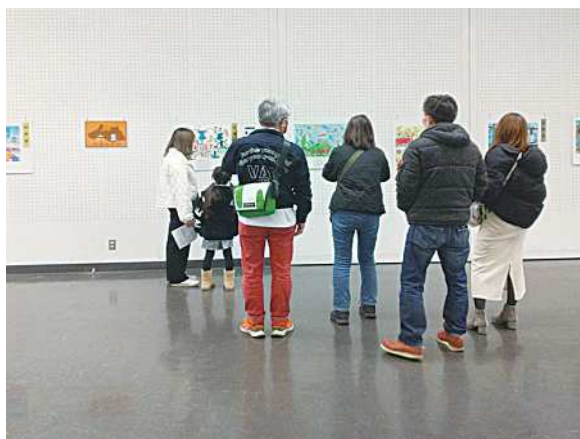
会場では、家族や親戚で連れ立って訪れ、子どもの作品を見つけて作品と一緒に記念撮影したり、作品の前で嬉しそうに談笑している姿があちこちで見られた。また、展示された作品を夢中になって眺め、印象に残った作品を撮影している子供の姿も目立った。



### 成果

本美術展は、児童生徒が郷土を描き、その作品による展覧会を実施することによって、郷土埼玉に対する理解と認識を深め、郷土愛の高揚を図ることを目的としている。

当日に行ったアンケートでは、「子供達の絵には力があり、見ていて元気をもらえました。とてもいい時間を過ごすことができました。」「見方や描き方は多様ですばらしいと思いました。でも、郷土に対する思いは、皆さん同じように絵にこめられていると思いました。」などの声が寄せられ、本事業が郷土埼玉の魅力を再発見するきっかけとなり、子供たちの健全な育成に貢献することができたと考えている。



### 主催

一般社団法人 埼玉県校外教育協会  
埼玉県 埼玉県教育委員会  
埼玉県芸術文化祭実行委員会



## 第44回墨晨書展“墨の祭り”誌上展

墨晨書道会 誌上展

### 当日の状況

昨年に続き新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会場での展示を取り止め冊子での発表とした。

### 成果

出品点数は一般（高校生以上）134点、学生部（幼年～中学生）1039点となり、合計1173点。

出品者の年齢は5歳から98歳と幅広く、誰もが楽しく学べるのが書道であると実感できた。また、作品集として手元に残るのもよい記念になると好評であった。

### 主催

墨晨書道会

埼玉県 埼玉県教育委員会

埼玉県芸術文化祭実行委員会

